

テーマ(案) 結いの広場

・「トランジット機能」(乗換え)と「にぎわい・交流機能」(人と人・モノ・体験・地域などを結びつける)を両立する広場とします。
 ・この地域で営み続ける人々の暮らしへのアクセントとなり、地域固有の風景などから信州・伊那谷を感じられるような広場とします。

◎交通の整流化や分散化を図るため、駐車場の出入口を複数配置(入口2箇所、出口2箇所)。
 ◎北西側は、イベント等に利用が可能な空間として活用。(可変性・利用頻度を考慮)

◎県道市場桜町線とコンコースの間の約8mの高低差は、歩行に支障が生じない5%以下のバリアフリー勾配で接続。

◎交通の整流化を図るため、立体駐車場の入口は、平面駐車場内に配置。
 ◎将来のモビリティに対応した配車動線として、広場への移動経路を確保。
 ◎屋上に眺望等が可能なスペースを確保。

◎人々が交流できる、コンコース、高架下空間を囲んだ南北一体の空間を確保。
 ◎広場を中心に、交通広場、乗降場、立体駐車場へ段差無く移動できる歩行者動線を確保。
 ◎交通広場、乗降場、立体駐車場への歩行者動線上には、天候バリアフリーとなるシェルターを配置。
 ◎各施設への視線が抜け、南北のつながりが感じられる空間を創出。
 (関係機関等からの意見等)
 ■飯田市身体障害者福祉協会
 ■飯伊圏域障がい者総合支援センター
 ・基本設計の案が断然よい。段差を極力なくした、移動しやすく判りやすい整備を希望。

◎乗降場は、コンパクトで車両動線が明確となる右回りのロータリー式。
 ◎乗降場における各種交通の交錯を避けるため、駐車場の出入口を乗降場の手前に配置。
 ◎JR施設への動線を確保。
 ◎南北道路は、緊急時等における対応道路として機能確保。

◎地域住民が活動できる空間を確保。交流広場、魅力発信施設と一体的に活用。

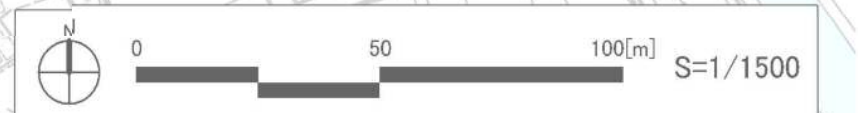
◎交通の分散化と災害時の代替機能を確保。(関係機関等からの意見等)
 ■長野県警察本部交通規制課(事前の相談)
 ・交通が分散されるため、円滑な交通処理に寄与しているとの見解。
 ・交通広場への1方通行(1車線)であり、安全に配慮した設計であるとの見解。
 ※今後、協議としたい。

◎交通広場は、コンパクトで車両動線が明確となる右回りのロータリー式。
 ◎乗降場における各種交通の交錯を避けるため、バス、自家用車、タクシーの動線を分離。タクシーの乗降場は、自家用車の通行を妨げないように、広場に切込ませて配置。
 ◎交通集中時における待機スペース、レンタカー、カーシェア等のスペースを確保。
 ◎JR施設への動線を確保。

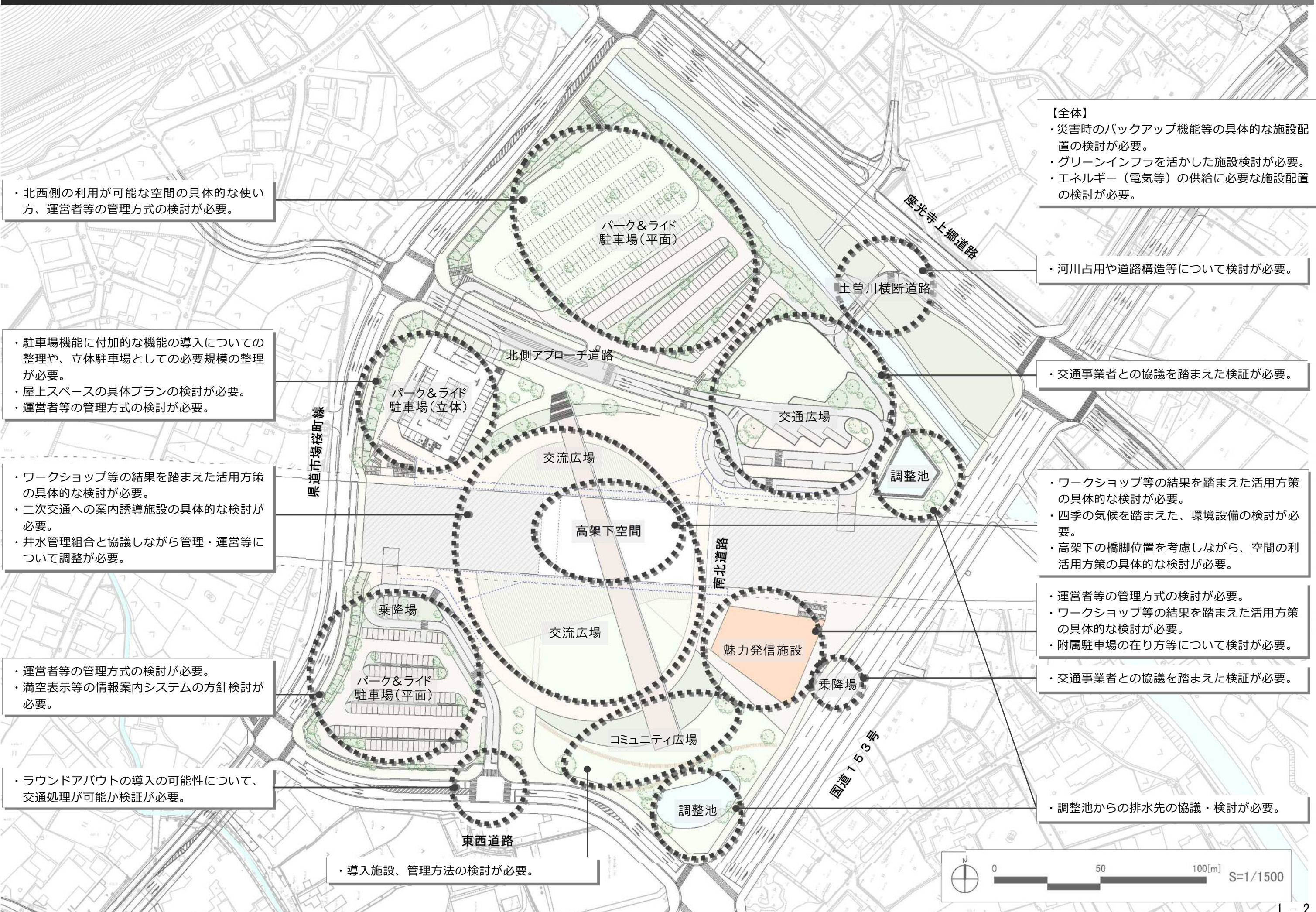
◎リニアから二次交通への乗換距離を感じない、多機能(インフォメーション機能、飯田ならではの体験を提供)の空間等を確保。
 ◎高架下空間を含め、WSの意見等を参考に、来訪者や地域住民に必要な機能を配置。

◎コンコースとバス待ちの空間を備えた魅力発信施設を結ぶ動線上となる、国道153号線沿いに配置。
 (関係機関等からの意見等)
 ■長野県警察本部交通規制課(事前の相談)
 ・道路構造令に従い、バス停車帯として検討することは可能。
 ※今後、協議としたい。

◎調整池の多面的利用として、近くで水を感じられる親水空間を確保。(関係機関等からの意見等)
 ■長野県飯田建設事務所
 ・調整池及び流末の位置を調整の上、県基準に従い検討すること。



継続的に検討が必要な課題等



・北西側の利用が可能な空間の具体的な使い方、運営者等の管理方式の検討が必要。

・駐車場機能に付加的な機能の導入についての整理や、立体駐車場としての必要規模の整理が必要。
 ・屋上スペースの具体プランの検討が必要。
 ・運営者等の管理方式の検討が必要。

・ワークショップ等の結果を踏まえた活用方策の具体的な検討が必要。
 ・二次交通への案内誘導施設の具体的な検討が必要。
 ・井水管理組合と協議しながら管理・運営等について調整が必要。

・運営者等の管理方式の検討が必要。
 ・満空表示等の情報案内システムの方針検討が必要。

・ラウンドアバウトの導入の可能性について、交通処理が可能か検証が必要。

・導入施設、管理方法の検討が必要。

【全体】
 ・災害時のバックアップ機能等の具体的な施設配置の検討が必要。
 ・グリーンインフラを活かした施設検討が必要。
 ・エネルギー（電気等）の供給に必要な施設配置の検討が必要。

・河川占用や道路構造等について検討が必要。

・交通事業者との協議を踏まえた検証が必要。

・ワークショップ等の結果を踏まえた活用方策の具体的な検討が必要。
 ・四季の気候を踏まえた、環境設備の検討が必要。
 ・高架下の橋脚位置を考慮しながら、空間の利活用方策の具体的な検討が必要。

・運営者等の管理方式の検討が必要。
 ・ワークショップ等の結果を踏まえた活用方策の具体的な検討が必要。
 ・附属駐車場の在り方等について検討が必要。

・交通事業者との協議を踏まえた検証が必要。

・調整池からの排水先の協議・検討が必要。

